

太田農相が辞任

汚染米転売で引責

白須事務次官を更迭

太田誠一農相は十九日、カビ毒や基準値を超えた農薬で汚染された事故米不正転売問題での農林水産省の対応が食の安全に対する国民の不安を招いたとして、引責辞任すると福田康夫首相に辞表を提出した。

政府はこの日午前の閣議で白須敏朗事務次官の辞任を了

承、事実上、更迭した。大臣と事務方トップの責任問題に発展した。後任の事務次官には井出道雄林野庁長官が就任する。



汚染米の不正転売問題で辞任した太田農相

2008年9月19日発行